

事業名

堀川こども団

～堀川商店街との協働『堀川こども新聞』～

京都新聞の記者さんや、伏見区で子ども新聞を作っている人が教えに来てくれたよ。



お古のパソコンを、いただきました！それを使って、自分たちで調べたり、記事を書いたりしました。



商店街の中にある No.317
(現：アニュアルギャラリー
No.317)も活動に使わせてもらったよ！



木曜日はこども団
堀川商店街へ行く。

実施団体

子どものよりよい 育ちを支える会



ワッフル。試作した通りにうまく焼けるかな？



「どこから来ましたか？」
シールを貼ってもらって、
アンケート調査をします。

年に2回の堀川まつり
お客さんもいいけど、お
店を出すのも楽しいな♪



チョコ入りが人気！
看板も描きました。

「いらっしゃ～い！」
「美味しいですよ。」
役割分担して売ろう。
店番は交代でしょう。



完成！『ほいかわこども新聞』



2019年11月に結成した「堀川こども団」

当時小学2年生だった子どもたちも、4年間の活動期間を経て、この春、小学校を卒業し、中学生になります。

こども団の活動を通して、「地域にはいろんな大人がいる」「自分の住んでいるところなのに知らないこともたくさんある」など、たくさんの気づきを得た子どもたちです。

令和5年10月には、堀川商店街に knocks! horikawa ができ、商店街に念願のこども団の基地をつくることができました。

商店街に足を運ぶ用事ができたことで、いつも通るルートのお店などは認識できるようになりました。

今年度取り組んだ『堀川こども新聞』は、その堀川商店街界隈の大人の方たちと、子どもが、お互いに持ち味を出し合って活動を進めました。それぞれの力をかけ合わせてできることの可能性を感じた反面、子どもの主体性を尊重することと、それを最大限に発揮させる大人のかかわり方やしかけ、バランスについて、常に模索し続けた一年間でした。

“子どものよりよい育ちを支える”って、楽しい！そして難しい！



活動テーマ：『自分のまちを誇れるように』

これからも、堀川こども団は、
地域の人と人をつなぐ”ハブ”となり、動き続けます。

子どもも大人もつながり、チャレンジできる
上京区でありますように！

4/1 堀川こども団2期生、発足！

「We are C(コロナ)世代！」

～やさしく、かしこく、しなやかに育て！～



活動を次の世代へと受け継ぎながら、ひとりひとりが“まちの担い手”となって、大きくのびのびと成長してほしいと思います。